

平成25年度
事業報告書

(自 平成25年4月1日～ 至 平成26年3月31日)

社会福祉法人 南陽市社会福祉協議会

平成26年 5月28日 提出
平成26年 5月28日 承認

平成25年度
社会福祉法人 南陽市社会福祉協議会事業報告書
『全体をとおして』

現在の我が国の人団塊の世代が65歳の高齢者に達したことで、いよいよ超高齢化社会に突入しました。また、少子化現象も回復の兆しが見えず国全体の人口が減少するという未だかつて経験のない現実を迎えています。南陽市においても65歳以上の高齢者の占める割合が、間もなく30%に達しようとしています。本協議会では、このような超高齢化社会によって増え続ける一人暮らし老人等の方々に対して①高齢者サロンの開催②宅配給食サービスの実施③地域住民による見守り活動、など支部社協やボランティアの協力を得て前向きに進めて参りました。

上場株の高騰や円安によって海外に輸出を行う大企業や金融機関、証券会社等の経常利益が大幅に改善し軒並み好決算を結んでいます。また、震災復興特需や東京オリンピックの開催決定などの影響によって建設業を中心に労働者不足が顕在化してきています。しかしながら、本県や南陽市に多く存在する中小企業には、まだ経済的な恩恵を実感するまでには至っていない状況です。働き盛り世代の方であっても就職先が見つからず、今後の生活費等やお子さんの教育資金の工面について数多く相談を受けました。これらの方々には、①生活福祉資金の貸付②たすけあい金庫の貸付③善意銀行事業による緊急支援、を行い低所得世帯の自立支援が図れるよう努めて参りました。

東日本大震災による原発事故の発生で福島県から南陽市に避難されている方は、今もって200名を数えています。故郷の放射線汚染の解決時期が見通せないことから、生活の将来像を描くことが出来ず、精神面での健康問題が年月を経るほどに深刻な状態となってきています。本協議会では、生活支援相談員（2名）による訪問活動を行い、避難者の方が抱えている悩み事をお聞きし、隨時にその課題を行政や県社協へ発信して参りました。

平成25年7月18日に発生した局地的な豪雨は、南陽市の中心を流れる吉野川を氾濫させ、その流域で民家等が床上・床下浸水の大きな災害を被りました。本協議会において「豪雨災害ボランティアセンター」を立ち上げ、県内外のボランティアの協力を得て、被災者宅の復旧のお手伝いを当初の目的どおり果たすことが出来ました。3週間に亘ったこの活動は、マスコミ等が好意的に取り上げてくださり広域に発信されたことから、被災者からはもとより様々な方々より感謝と敬意のお言葉を頂戴いたしました。この経験を本協議会のみならず県内市町村社協や行政機関に共有していただくため「7・18南陽市豪雨災害ボランティアセンター報告書」を編纂して関係団体に提供いたしました。

本協議会は、健康長寿センターにおいて居宅介護支援事業、訪問介護事業、通所介護事業の介護保険サービス事業を行っています。その事業の中でも居宅介護支援事業は、要介護者に対してケアプラン作成、相談援助、課題分析等の重要な業務を担うことから、介護保険事業の中核の事業と位置付けられています。平成25年度から介護支援専門員を1名増員することで、本協議会が提供する介護保険サービス全体の拡充が図れるよう取り組んで参りました。要介護者は高齢で身体に何らかの支障を持たれている方々ですので、入院によるサービス停止や止む無く終了しなければならない事例も年間をとおして多く、経営面の観点から計画性に沿った介護報酬の確保の困難さも痛感した年度でありました。

このように激動する社会情勢の中においても、市民が望まれる福祉課題を着実に実践する社協であり続けるために役職員一丸となって一歩一歩前進して参ります。

【1】法人の運営・管理

1. 理事会の開催

《第138回理事会》 出席者 会長・副会長・常務理事・理事・監事・事務局

- ・期日 平成25年5月28日（火）
- ・会場 南陽市健康長寿センター（創作研修室）
- ・議事
 - (1) 平成24年度南陽市社会福祉協議会事業報告書の認定について
 - (2) 平成24年度南陽市社会福祉協議会一般会計決算書の認定について
 - (3) 評議員の改選について（役職交替による改選）
 - (4) 平成24年度山形県共同募金会南陽市支会一般会計決算書の認定について

《第139回理事会》 書面協議

- ・期日 平成25年12月1日付
- ・議事
 - (1) 南陽市社会福祉協議会副会長の選任について
 - (2) 南陽市社会福祉協議会評議員の選任について
 - (3) 山形県共同募金会南陽市支会副会長の選任について
 - (4) 山形県共同募金会南陽市支会評議員の選任について

《第140回理事会》 出席者 会長・副会長・常務理事・理事・監事・事務局

- ・期日 平成26年3月27日（木）
- ・会場 南陽市健康長寿センター（創作研修室）
- ・議事
 - (1) 平成25年度南陽市社会福祉協議会一般会計補正予算（案）について
 - (2) 平成25年度南陽市社会福祉協議会福祉活動功労者表彰について
 - (3) 平成26年度南陽市社会福祉協議会事業計画（案）について
 - (4) 平成26年度南陽市社会福祉協議会一般会計予算（案）について
 - (5) 平成25年度山形県共同募金会南陽市支会一般会計補正予算（案）について
 - (6) 平成26年度山形県共同募金会南陽市支会一般会計予算（案）について

2. 評議員会の開催

《第104回評議員会》 出席者 会長・副会長・常務理事・評議員・理事・監事・事務局

- ・期日 平成25年5月28日（火）
- ・会場 南陽市健康長寿センター（健康教育室）
- ・議事
 - (1) 平成24年度南陽市社会福祉協議会事業報告書の承認について
 - (2) 平成24年度南陽市社会福祉協議会一般会計決算書の承認について
 - (3) 理事の改選について（役職交替による改選）
 - (4) 平成24年度山形県共同募金会南陽市支会一般会計決算書の承認について

《第105回評議員会》 書面協議

- ・期日 平成25年12月1日付
- ・議事
 - (1) 南陽市社会福祉協議会理事の改選について
 - (2) 山形県共同募金会南陽市支会理事の改選について

《第106回評議員会》 出席者 会長・副会長・常務理事・評議員・理事・監事・事務局

- ・期日 平成26年3月27日（木）
- ・会場 南陽市健康長寿センター（健康教育室）

- ・議事
 - (1) 平成25年度南陽市社会福祉協議会一般会計補正予算（案）について
 - (2) 平成26年度南陽市社会福祉協議会事業計画（案）について
 - (3) 平成26年度南陽市社会福祉協議会一般会計予算（案）について
 - (4) 平成25年度山形県共同募金会南陽市支会一般会計補正予算（案）について
 - (5) 平成26年度山形県共同募金会南陽市支会一般会計予算（案）について

3. 監事会の開催

《監査実施》 出席者 監事・会長・常務理事・事務局

- ・期日 平成25年5月24日（金）
- ・会場 南陽市健康長寿センター（創作研修室）
- ・内容
 - (1) 平成24年度南陽市社会福祉協議会事業全般について
 - (2) 平成24年度南陽市社会福祉協議会諸決算について

《監査実施》 出席者 監事・会長・常務理事・事務局

- ・期日 平成25年11月15日（金）
- ・会場 南陽市健康長寿センター（創作研修室）
- ・内容
 - (1) 平成25年度南陽市社会福祉協議会上半期事業について
 - (2) 平成25年度南陽市社会福祉協議会上半期一般会計について

【2】低所得者に対する事業

1. 生活福祉資金貸付事業

景気や雇用情勢の低迷から回復状況に向かってはいるが、多重債務や複雑な家庭環境等から、福祉費や緊急小口資金をはじめとする貸付相談に対して、失業者や低所得者への支援強化に努めてきた。民生委員・児童委員や関係機関との連携を密にし、貸付の支援や面談、償還指導を行ってきた。貸付件数は前年度より27件減少したが、困窮の原因が複雑多様化している。

資 金 の 種 類	件数	貸付金額
総合支援資金	生活支援費（新規）	2
	生活支援費（延長）	3
	一時生活再建費	0
福祉資金	福祉費	2,140,000円
	緊急小口資金	838,000円
教育支援資金	教育支援費	8,658,000円
	就学支援費	3,089,000円
合 計	37	15,623,000円

2. たすけあい金庫貸付事業

緊急を要する低所得世帯への援助活動として、無利子で生活費等の貸し付けを行った。また、これらの要望に常時即応できる体制の確立に努めた。平成25年度の新規貸付は、8件 585,000円と昨年度より3件減少したものの、相談内容は複雑な状況である。（1件に対す

る貸付限度額は、80,000円）滞納者について、借受者及び保証人等に現在の生活状況を伺い、償還状況を確認し、今後の償還計画等についての指導を民生委員・児童委員の協力を得て行った。

3. 善意銀行の運営

市民の方から善意の寄付金や物品を預託いただき、生活に困窮している方々への緊急支援、衣類やタオル、洗剤、介護用電動ベット、食品等の寄付物品を払い出し、善意の交流をおこない有意義に活用した。

《内訳》

預託種別	件数	金額	払出種別	件数	金額
金品	11	136,348円	支援金	7	89,230円
物品	18	—	見舞金	10	70,000円
預託合計	29	136,348円	払出計	17	159,230円

払出種別	件数	金額	払出種別	件数	払出	件数	金額
緊急貸付	24	481,230円	物品払出	33	合計	74	640,460円

【3】ボランティア活性化事業

1. 在宅福祉事業

(1) 生活支援型給食サービス事業（毎週水曜日・昼食）

介護保険制度で行っていない生活支援サービスとして、食事の調理をすることが困難な高齢者のための援助活動を行ってきた。ボランティアが宅配することで高齢者とふれあい、一人暮らし高齢者の孤独感を解消する等見守り援助も行った。

また、管理栄養士をはじめ調理ボランティアの皆さんのが献立を作成し、より一層バランスの取れた食事、旬の食材を使用した季節感のある食事を提供してきた。

(総配食数 1,397食)

(2) 総合相談所の設置・運営

総合相談事業をとおして、個別ニーズに適切に対応するため、相談員間及び関係機関との連携を図りながら取り組んだ。相談所の広報は、市報掲載（毎月）、社協だより「あい」への掲載・ホームページによる周知活動を行った。

山形県高齢者総合相談センターの支援を得て、無料法律相談を7月24日に開催した。

各種相談研修会に参加し、相談技術の向上や情報共有に努めた。

《相談体制》

- ・毎月第二・第四金曜日 午後1時30分～4時 南陽市健康長寿センター（創作研修室）
相談員7名（民生委員・児童委員、学識経験者）
- ・毎週月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分 南陽市健康長寿センター
ボランティアに関する相談（ボランティアコーディネーター）

2. 住民参加型非営利活動推進事業

(1) 災害救援活動

7月18日発生した豪雨災害により市内の避難所にいる方々の夕食として、南陽市赤十字奉仕団、南陽市ボランティア友の会、南陽市職員、南陽市社会福祉協議会職員でハイゼックス包装食（お米1合）を300食炊き上げ、避難者へお届けした。

また、南陽市総合防災訓練（平成25年10月20日開催）給食訓練において、南陽市ボランティア友の会を中心に、ハイゼックス包装食（300食）の非常食作りを行った。

(2) ボランティアセンター事業

ボランティア活動をしたい人、活動に参加したい人、ボランティアから支援を受けたい人の調整を図り、市民参加の基盤を広げてきた。

《施設・在宅ボランティアコーディネート》

- ・福祉施設等を訪問し、歌や踊りを披露しながら、入所者の方々と交流する機会や、技術を活かした活動等の調整設定を行った。
- ・施設の野外レクリエーション時に参加者の車椅子介助や見守りをしながら交流をする機会の設定を行った。
- ・高齢者一人暮らし宅への給食サービス、冬季除雪等の相談や活動の調整設定を行った。

(3) 広報誌の発行

社会福祉協議会の事業内容等について、広くご理解いただけるよう社協だより「あい」を発行し、全戸配布を行った。（7月、12月、3月）

3. 福祉教育推進事業

(1) 福祉教育協力指定校事業

市内全小学校、中学校、高等学校を福祉教育協力指定校とし、子どもたちの豊かな心を育む福祉教育実践を展開していただいた。学校から地域に出て体験をしたり、地域から学校に招待したりしながら、心あたたまる交流活動がとても喜ばれている。

(2) ボランティアの育成と活動拠点の開拓

《ばらんていあひろば ぴよっこ》

少子化や核家族化が進む中、子どもたちが多様な人々と共に地域社会の中で暮らしていくことの大切さを知り、他者との関わりの中で、より良い生き方を考えるきっかけとして、ボランティア活動を体験し、学んでいく必要性が高まっている。子どもたちが様々な人と交流をとおし、自分や地域を見つめ、自分たちに何ができるかを考え活動できるよう、福祉教育サポーターの支援のもとに行なった。

《中・高校生ボランティアサークル「にじ」》

施設夏祭りでの車椅子介助や事業協力、車椅子みがき、ごみ拾い、落ち葉清掃、赤い羽根共同募金街頭募金活動、ばらんていあひろば「ぴよっこ」の交流会企画・運営等を行なった。異なる学校に通う中高校生が同じサークルの仲間意識を持ち、協力して活動をすることができた。

4. 豪雨災害ボランティアセンター運営

平成25年7月の豪雨により市内を流れる吉野川が氾濫し、甚大な被害を受けた。少しでも早い生活復旧をめざし、災害ボランティアセンターを立ち上げ支援活動を行なった。

『被害状況』 (2013. 7. 18、22 及び 27 豪雨被害)

【人的被害】 負傷者 1名

【住家被害】 全壊 1件、半壊 7件 (床上浸水 6件)、
一部損壊 (床上浸水) 13件、床下浸水 79件

【非住家被害】 全壊 2件、浸水 49件

【土砂災害】 22箇所

【農地被害】 水田・畑・果樹畑・花き・樹木・牧草 352.4ha
施設 (パイプハウス) 20件

【被害総額】 約10億円 (国・県管理除く)

『7.18 南陽市豪雨災害ボランティアセンターの運営』

【設置期間】 2013年7月21日～8月11日

【設置場所】 小瀧小学校 ※2013年4月～休校

【延ボランティア活動者数】

1,106人 (うち、市内207人、県内506人、県外393人)

※南陽高校生徒 91人

【運営スタッフ】

南陽市社会福祉協議会を中心に、南陽市役所、南陽青年会議所、山形県社会福祉協議会、
県内市町村社会福祉協議会、NPO等、延360人

【4】支部社協との連携事業（地域福祉振興活動事業）

1. 支部長及び担当者会

支部社協との連携及び情報交換のため、支部長及び担当者会議を開催した。

『第1回』

- ・期日 平成25年7月3日 (水)
- ・会場 南陽市健康長寿センター (健康教育室)
- ・議事 (1) 平成25年度各支部の事業取り組みについて
(2) 敬老会等の事業について
(3) 高齢者等の見守り及びサロン活動について

『第2回』

- ・期日 平成25年11月6日 (水)
- ・会場 南陽市健康長寿センター (健康教育室)
- ・議事 (1) 平成25年度敬老会の反省について
(2) 小地域ネットワーク事業の推進について
(3) 給食サービス事業の取り組みについて

2. 敬老会等事業への協力

市内9地区において各地区実行委員会を中心に、地域ならではの催し物を実施した。招待者は年々増加傾向にあり、地域の中で高齢者を支え合う小地域ネットワークの一端を担った事業である。

《開催期日及び招待者数》

地区	開催期日	式典会場	招待者(人)	出席者(人)	主な催し物
梨郷	9月1日	梨郷小学校体育館	356	99	マジック、フラダンス、龍樹太鼓、遊戯、民謡
中川	9月8日	中川公民館	315	100	歌、合奏、踊り、カラオケ
宮内	9月13日	蔵樂	1,370	320	遊戯、歌謡ショー
沖郷	9月15日	南陽市民会館	1,044	155	吹奏楽、コーラス、舞踊
金山	9月15日	ハイジアパーク南陽	127	54	踊り、合唱、カラオケ
小滝	9月16日	小滝多目的集会施設	65	23	遊戯、合唱、民話
荻・下荻・太郎	9月23日	荻小学校体育館	127	63	遊戯、歌、民謡、よさこい
赤湯	9月25日	南陽市民会館	1,737	220	遊戯、歌謡ショー
漆山	9月30日	語り部の館	589	104	遊戯、歌、舞踊、他
合計	—	—	5,780	1,138	—

3. ふれあい給食サービス事業

地域の方(支部社協・ボランティア)がその地域にお住まいの高齢者に対して、ふれあいと安否確認及び激励を目的に開催した。心あたたまるメッセージカードを添えていただき、大変元気づけられ喜ばれた。(市内8地区 年1~2回実施)

《実施期日及び配食数》

地区名	宮内	梨郷	中川	赤湯	金山	吉野	漆山	沖郷
期日	11月19日	12月8日	11月13日	11月28日 2月6日	12月8日	12月6日 1月30日	12月6日 2月7日	12月22日
配食数	138	57	90	280	34	38	81	78
対象者 (延)	男	44	21	34	62	12	14	29
	女	94	36	56	218	22	24	49

【5】受託事業の推進

1. 戦没者追悼式受託事業

地区	戦没者柱数	一柱助成金(円)	地区助成金(円)	慰靈祭開催月日	慰靈祭会場
漆山	140	500	70,000	5月10日	珍藏寺
宮内	233	500	116,500	6月10日	蓬萊院
中川	100	500	50,000	6月14日	中川地区忠魂碑
梨郷	120	500	60,000	7月10日	梨郷神社
金山	46	500	23,000	7月20日	東禪院
沖郷	205	500	102,500	9月1日	高福寺
赤湯	228	500	114,000	9月16日	烏帽子山八幡宮
吉野	91	500	45,500	10月27日	吉野公民館
合計	1,163	—	581,500	—	—

2. 福祉バス管理運行事業

市内の福祉関係団体による各種研修会、福祉大会の参加、ボランティア活動等のために利用された。安全な運行に留意しながら事業を実施した。

月 別	運行日数 (日)	運行回数 (回)			乗車人数 (人)	走行距離数 (km)
		市内	県内	県外		
4月	12	4	6	3	279	1,314
5月	17	3	9	4	379	2,277
6月	20	6	7	7	433	2,654
7月	24	9	12	5	560	4,047
8月	13	4	7	3	308	1,873
9月	16	7	7	3	457	1,952
10月	29	15	9	9	771	4,537
11月	18	7	6	5	384	2,403
12月	6	7	0	0	125	258
1月	7	7	1	0	140	316
2月	9	9	0	0	189	381
3月	10	5	4	1	210	727
合 計	181	83	68	40	4,235	22,739

【6】共同募金の推進

1. 赤い羽根共同募金運動

市民の皆様から戸別、職域、そして街頭での募金活動（市内5店舗）を実施し、あたたかい善意の募金が寄せられた。

頂戴いたしました貴重な募金は、山形県共同募金会に送られ、次年度配分となります。

前年度の募金より本年度配分された金額は、

1,662,148円で身近な地域福祉活動に役立たせていただいた。

「7.18南陽市豪雨災害」時山形県共同募金会より、ボランティアセンター運営費の支援を受けることができた。

区 分	募金額
戸 別 募 金	3,424,850 円
職 域 募 金	109,158 円
街 頭 募 金	70,119 円
法 人 募 金	0 円
そ の 他 の 募 金	23,794 円
合 計	3,627,921 円

2. 歳末たすけあい運動

共同募金の一環として、地域住民やボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉施設・団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができるよう運動を推進した。

《歳末たすけあい運動推進会議の開催》

期 日 平成25年10月28日（月）

会 場 南陽市健康長寿センター（健康教育室）

内 容 ・運動推進要綱について ・配分対象者の基準について

《歳末たすけあい運動配分委員会の開催》

期 日 平成25年12月13日（金）

会 場 南陽市健康長寿センター（健康教育室）

内 容 •配分対象者の決定について •配分額の決定について
•配分金伝達の日程について

【募金額】 2,706,646円

(内訳：戸別募金 2,420,760円、職域募金 221,018円、篤志募金他 64,828円、利子 40円)

【配分額】

配分対象者		人数	配 分 金
低所得者世帯	幼児	22人	55,000円
	小学生	70人	245,000円
	中学生	52人	234,000円
	高校生	41人	246,000円
	世帯主	260人	1,820,000円
特別要援護児童・生徒		11人	49,500円
運動推進経費		—	46,189円
計		456人	2,695,689円

(残金は26年度在宅福祉援助活動費として活用予定)

【7】介護予防・地域ささえあい事業

1. 地域福祉権利擁護事業（福祉サービス利用援助事業）

高齢者世帯の増加、障がい者の地域移行が進む中、地域生活を支える支援事業として、相談・契約等を行ってきた。支援員4名体制で、高齢の方や障がいのある方に、福祉サービスの情報提供や利用手続き・日常的な金銭の出し入れのお手伝いを行い、重要な書類等を紛失しないようにお預かりして、安心して暮らせるように支援した。

支援員は相談技術の向上や障がい・認知症等を理解する為、山形県社会福祉協議会主催の研修会や、置賜管内で開催された研修会に参加をして、情報共有及び研鑽を積んだ。

相 談 件 数	契 約 締 結 件 数	解 約 件 数	実 利 用 者 数	支 援 活 動 実 繢
404件	7件	1件	20人	383件

2. 地域介護予防活動支援事業

(1) はつらつくらぶ事業

介護保険対象外の元気な高齢者を対象に、居宅への閉じこもり、寝たきりや認知症の予防を目的として、老人いこいの家・健康長寿センター・防災センター・文化センター等で、健康維持や各種趣味活動を開催した。

事 業 回 数	総 利 用 者 数	男	女
248回	4,986人	389人	4,597人

(2) 高齢者地域サロン

高齢者が住みなれた地域において自立した生活を継続するために、介護予防の視点からその

心身機能の維持向上の機会が必要である。そのために、交流の場の充実を図ることで、要介護状態等になることを予防できることから、自主的に組織化を図ろうとする地域活動の支援を行った。(助成対象サロン81団体)

3. 小地域福祉ネットワーク事業

少子高齢化、人口減少、貧困層の増大、単身世帯の増加により、孤立化が進んでおり、住民による地域での支え合い活動や見守り活動の必要性が見直されてきている。

本会では、関係者による研修会の開催及び活動を行う地区への助成金交付、定例会等にて相談に応じる等、関係者への啓発を図ってきた。

(1) 研修会

期日 平成26年3月13日(木)
会場 ハイジアパーク南陽(南陽座)
人数 83人
内容 講演「いのちと向き合う現場から」
講師 山形いのちの電話 伊藤和子 氏

(2) 活動団体への助成金交付

《地域支え合い活動》

高齢者及び身体障がい者世帯に対し、見守り活動等を実施し、高齢者等の地域における自立した在宅生活の継続を図った。

(宮内 1カ所、沖郷 1カ所、漆山 19カ所、中川 1カ所 合計22カ所)

《助け合い除雪活動》

高齢者及び身体障がい者世帯等、除雪困難な世帯の除雪を行い、冬季間の生活を安心・安全に暮らすことができるよう支援した。

(金山 1カ所、沖郷 1カ所、中川 1カ所 合計3カ所)

4. 避難者生活相談支援事業(県社協受託事業)

東日本大震災により市内に避難している世帯を訪問し、生活上の困りごとや不安を感じていること等を把握し、必要な福祉サービス等につなぐとともに、地域住民や民生委員・児童委員、ボランティア、NPO等と協力しながら避難者の生活支援及び相談に応じた。

《活動内容》

- ・訪問活動(2~3ヶ月に1回程度)
- ・避難者向けおたより作成(訪問時に配布)
- ・避難者交流サロン「がんばろう東北 憇いと交流の広場」(市危機管理課主催)参加
(南陽市健康長寿センターにて、毎週月曜日午後1時30分~4時)
- ・老人いこいの家で高齢者交流会開催(①6月5日 11人参加 ②9月5日開催 9人参加)
- ・料理教室(①7月1日 避難者のみ 17人参加 ②10月22日 地域交流 12人参加
③11月30日 避難者親子 10人参加)
- ・高校入試お話会(11月7日 市教育委員会指導主事、福島県派遣教員より説明 11人参加)
- ・育メンパパのお話会(12月16日 福島県在住の中学校教師のお話 13人参加)
- ・避難者芋煮交流会への支援及び参加
- ・県避難者生活支援相談事業連絡会議出席(4月、7月、10月、1月)

【6】指定管理業務

1. 南陽市健康長寿センター・デイサービスセンター管理経営事業

《南陽市健康長寿センター利用状況》

	健 康 教 育 室	診 察 室	栄 養 指 導 室	生 活 訓 練 室	創 作 研 修 室	こども の 広 場	交 流 ス ペ ジ ス	月 别 人 数 合 計	月 别 利 用 回 数
4月	497	228	74	132	290	257	55	1,533	71
5月	491	271	34	192	196	191	45	1,420	60
6月	538	252	74	199	239	271	29	1,602	60
7月	587	282	221	213	217	338	35	1,893	77
8月	479	321	115	125	284	235	24	1,583	59
9月	615	255	166	258	152	252	75	1,773	84
10月	795	137	142	268	332	346	23	2,043	73
11月	735	394	263	158	304	263	50	2,167	77
12月	583	326	247	369	406	250	91	2,272	73
1月	501	192	140	49	147	271	17	1,317	54
2月	534	206	236	139	112	312	49	1,588	65
3月	520	342	197	90	303	325	35	1,812	73
人数合計	6,875	3,206	1,909	2,192	2,982	3,311	528	21,003	826
利用回数	206	76	113	172	150	41	68		
開設時(平成6年4月)からの会議室利用者数	開設時(平成6年4月)からの会議室利用回数								
399,506人	16,119回								

2. 老人いこいの家管理経営事業

《月次・曜日別利用状況》

月	利用者数	開荘日数	一日平均 利用者数	曜 日 别 利 用 者 数 (人)					
				火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
4月	442	25	17.7	68	85	98	53	65	73
5月	307	27	11.4	82	76	48	20	29	52
6月	278	26	10.7	70	52	30	49	8	69
7月	345	26	13.3	82	92	56	25	52	38
8月	256	24	10.7	55	54	54	33	33	27
9月	379	25	15.2	73	64	75	83	29	55
10月	490	27	18.2	99	121	115	45	41	69
11月	394	26	15.2	70	95	55	57	75	42
12月	407	24	17.0	53	76	94	66	58	60
1月	409	22	18.6	61	91	54	69	44	90
2月	394	24	16.4	81	71	68	62	45	67
3月	430	26	16.5	62	108	47	41	70	102
計	4,531	302	15.0	856	985	794	603	549	744

【7】介護保険事業

1. 居宅介護支援事業

介護認定を受けてご依頼のあった方に対して心身の状態やニーズの変化により、自立した生活の問題や課題点の解決に向け、希望する必要なサービス等を利用できるようケアプランを作成する介護支援専門員を常勤専従5名から6名に増員し質の向上に努め、要介護状態になっても住み慣れた地域で尊厳のある生活が継続できるように支援した。また、地域包括支援センターと連携を図り、支援困難な多問題ケースへの対応や連絡調整の強化に努めるとともに、南陽市介護予防支援事業を受託し要介護状態に至らないよう自立支援プランを作成した。要介護認定者数の増加に伴い、介護保険認定調査を南陽市及び近隣市町から業務を受託し認定更新者や新規申請者の訪問調査を実施した。

人権擁護・高齢者虐待防止連絡会など各種関係機関の研修会を通してネットワークを深め、虐待防止の推進にも関わった。また、認知症高齢者の増加に伴い、住み慣れた地域で生活が継続できるよう認知症サポーターとして高齢者サロン等に出向き「出前介護講座」にて周知した。

【介護支援専門員の業務内容】

- 要介護認定業務・・・介護保険認定調査（受託）
- ケアマネジメント・・・相談援助、ケアプラン作成、課題分析、サービス事業者調整
- 給付管理業務・・・給付実績管理、介護給付費請求事務
- 地域ケア グループホーム運営会議 高齢者虐待防止連絡会 出前介護講座

2. 訪問介護事業

利用者一人ひとりが、生活の質を維持、向上することができるよう介護支援専門員や関係団体と連携を図りながら個別援助計画を作成し、適切な介護サービスの提供に努めた。一人暮らしや高齢者夫婦、日中家族不在等の高齢者が多く、本人や家族とコミュニケーションを図り、希望や要望に応えながら、地域や日常生活の中で生きがいを持って生活できるよう支援した。また、利用者の状態の変化に合わせて訪問回数や時間など柔軟に調整し、介護支援専門員等と連携を図りながらニーズに合わせた訪問介護を実施した。近年、医療関連の利用者や認知症高齢者が増加していることから、公的機関が主催する専門研修会を積極的に受講し職員の介護技術・資質の向上に取り組んだ。

【訪問介護サービスの概要】

(1) 身体介護

- 入浴介助・・・入浴・洗髪・シャワーなどによる保清
- 清拭・・・入浴の困難な方には身体を拭く
- 食事介助・・・食事摂取の介助
- 排泄介助・・・排泄の介助や誘導、オムツ交換など
- 衣類の交換・・・着衣の交換及びベッドメーキングなど

(2) 生活援助

- 調理・・・ご契約者分の食事作り
- 洗濯・・・ご契約者の衣類などの洗濯
- 掃除・・・ご契約者の居室の掃除
- 買い物・・・ご契約者の日常生活上、必要な物品の買い物

3. 通所介護事業

利用者個々の心身の状況、心身の状態の変化等に柔軟に対応できるよう、介護支援専門員が作成するケアプランに沿って通所介護計画書を作成し、介護支援専門員や各関係機関との連携や職場内での他職種間の連携を密に行なった。また、利用者の家族にも情報提供を行うことで心身の状態の低下を防ぎ、利用者の方々が在宅での生活が継続できるよう支援してきた。

また、今年度はセンター南・西側ガラス全体に葭簀（よしず）を使用した夏場の暑さ対策や季節性の感染症に対しても文書等での通達や声掛けを行い、利用者の体調維持・健康管理に努めた。

さらに、職場内の研修会や職場外の研修会にも積極的に参加し、サービスの質の向上、職員の介護技術の向上を図った。

なお、当初通所介護事業所が提供する利用者の介護度・支援度別人数及び介護予防を含む日常サービス内容は次のとおりである。

※平成26年3月31日現在

介護度	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
人 数	9人	21人	33人	15人	10人	8人	6人	102人

【通所介護サービス及び介護予防サービス提供内容】

- 日常生活の援助・・・排泄介助、移動介助、その他必要な身体介助
- 健康状態の確認・・・バイタルチェック、状態見守り、医療処置、緊急時の対応等
- 食事の介助・・・季節に添った食材の提供及び調理、食事摂取介助
- 機能回復訓練・・・レクリエーション、行事的活動、趣味活動、日常生活訓練
- 相談・助言・・・本人及び家族に対する日常生活の介護、看護の相談・助言

《平成25年度 福祉関係受賞者》

【山形県県民福祉大会会長表彰受賞者】

青木 智 様 (民生委員児童委員功労者)

高山 喜志子 様 (民生委員児童委員功労者)

【南陽市社会福祉協議会会长表彰活動功労受賞者】

渡邊りつ子 様 (地域福祉の模範)

阿部二男 様 (地域福祉の模範)

【南陽市社会福祉協議会会长感謝状受賞者】

遠藤 晃 様 (給食サービス配食ボランティア活動)

【山形県共同募金会南陽市支会会长感謝状受賞者】

学校法人 宮内幼稚園 様 (永年に亘る寄付活動)

平成25年度南陽市社会福祉協議会関連会議等

開催年月日	事業・会議名	会場・開催場所
平成25年 4月24日	ボランティア友の会総会	南陽市中央公民館
平成25年 4月24日	置賜地区老人クラブ連合会連絡会議	白鷹町健康福祉センター
平成25年 5月10日	市老人クラブ連合会総会	南陽市中央公民館
平成25年 5月13日	生活福祉資金貸付事業新任担当者研修会	県小白川庁舎
平成25年 6月 1日	いちょうまつり バザー&花即売会	いちょうの家
平成25年 6月 6日	置賜二市二町社協職員連絡会議	南陽市健康長寿センター
平成25年 6月 7日	市町村社協地域福祉担当者会議	県総合社会福祉センター
平成25年 6月13日	市町村老人クラブ連合会事務担当者会議	県総合社会福祉センター
平成25年 6月18日	置賜三市五町社協職員連絡会議	高畠町幸新館
平成25年 7月 9日	生活福祉資金貸付事業担当者会議	米沢市すこやかセンター
平成25年 8月 7日	第1回置賜ボランティアの輪連絡会議	川西町農業改善センター
平成25年 8月19日	福祉サービス利用援助事業専門員・生活支援員研修会	県総合体育館
平成25年 8月23日	生活援助研究協議会	天童ホテル
平成25年 9月11日	県災害 VC 運営者研修会基礎編	県自治会館
平成25年10月 8日	国交省主催バリアフリー教室	赤湯駅
平成25年10月 8日	宮内地区教育講演会	宮内小学校体育館
平成25年10月11日	置賜ボランティアの輪研修会	川西町農業改善センター
平成25年10月15日	置賜管内防災担当課長等会議	置賜総合支庁
平成25年10月16日	広域除雪ボランティア受入体制講習会	県自治会館
平成25年10月22日	置賜老ク連会長女性代表担当者会議	白鷹町パレス松風
平成25年10月29日	13市社協常務理事・事務局長会議	山形市社会福祉センター
平成25年11月13日	山形県・県民福祉大会	新庄市民文化会館
平成25年11月25日	福祉サービス利用援助事業置賜地区合同研修会	米沢市すこやかセンター
平成25年12月 4日	県災害 VC 運営研修会スキルアップ編	県総合社会福祉センター
平成25年12月10日	置賜三市五町社協職員研修会～11日	東京都 全社協
平成25年12月17日	新任民生委員児童委員研修会	市防災センター
平成26年 1月 9日	生活支援相談活動管理職・担当者会議～10日	福島市ホテル聚楽
平成26年 1月24日	東日本大震災復興祈念事業実行委員会	置賜総合支庁
平成26年 2月18日	共同募金会郡・市支会常務理事会議	県総合社会福祉センター
平成26年 2月19日	社会福祉法人事務処理講座	県職員会館
平成26年 2月26日	生活福祉資金担当職員研修会	県総合社会福祉センター
平成26年 2月27日	福祉サービス利用援助事業事務局長会議	県総合社会福祉センター
平成26年 2月28日	南東北災害 VC 運営者研修会～1日	上山市ホテル古窯
平成26年 3月 8日	東日本大震災復興記念事業シンポジウム	米沢市九里学園
平成26年 3月11日	東日本大震災復興祈念事業追悼式	米沢市伝国の杜
平成26年 3月12日	県共同募金会評議員会	山形市ヤマコービル
宮内地区教育ネットワーク会議	5月16日、5月24日、8月21日、9月28日	
基幹的社協専門員連絡会議	4月26日、6月26日、10月11日、3月10日	
福祉サービス利用援助事業エリア会議	9月25日、3月18日	
ボランティア市民活動実践研究会	6月14日、11月21日、2月6日	
災害 VC 運営者研修会実行委員会	10月29日、12月2日、2月10日	